技術は、誰のためにはまれるの？

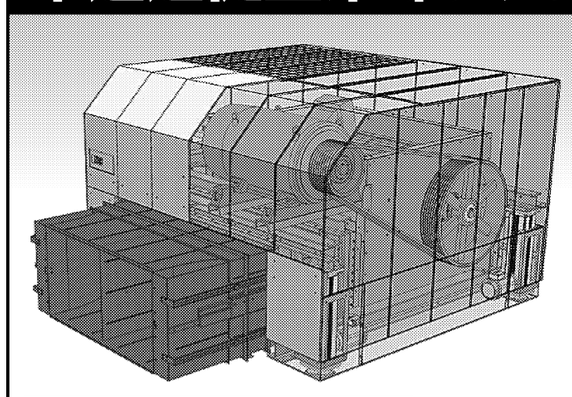
たとえば、クルマを動かす力になるプラグ。
それは、運転する人のためのもの。
でも大きな視野で見つめれば、
それは地球の、未来の一部になる。
だから日本特殊陶業は、子どもたちのこと、
世界で暮らす人々のことも想いながら技術を育んでいます。
環境を考えて進化するプラグやセンサ。
未来を支える製品開発。
一つひとつに、大切な想いを込めて。挑戦は続きます。

スパークプラグ　グロープラグ　ジルコニア酸素センサ

〒467-8525 名古屋市瑞穂区高辻町14-18　TEL（052）872-5933

自動車技術展 人とくるまのテクノロジー展2015 AUTOMOTIVE ENGINEERING EXPOSITION
ブース No. 315
＜出展テーマ＞
内燃機関の更なる発展と、これからのクルマ社会に貢献する日特の技術
NGK スパークプラグ　NTK ニューセラミック
日本特殊陶業
http://www.ngkntk.co.jp

車速追従型冷却ファンシミュレーター VQFシリーズ



車速追従型冷却ファンシミュレーターは、あらゆる大手自動車メーカーで使用されています。

古文字：「車」

車速追従型冷却ファンシミュレーターVQFシリーズ大手自動車製造業での使用例

ポルシェ、VQF500/1000型

ダイムラー、VQF1000/1600型

自動車技術展 人とくるまのテクノロジー展2015 AUTOMOTIVE ENGINEERING EXPOSITION
2015年5月20日（水）・21日（木）・22日（金）
パシフィコ横浜・展示ホール
小間番号 238

TOHO トーホーエンジニアリング株式会社
研究開発センター　〒462-0835　名古屋市北区杉村1-16-20　☎〈052〉915-1040（トーホー）　FAX〈052〉919-1212
本　社　〒462-0844　名古屋市北区清水3-14-11　☎〈052〉991-1040（トーホー）代　FAX〈052〉914-9822
URL：http://www.tohoeng.net/

人とくるまのテクノロジー展

22日まで パシフィコ横浜で開催

乗って楽しい車つくり

話題の最新車に試乗

屋外では話題の燃料電池車などの最新技術搭載車、最新のスポーツカーなどが試乗できる。今年はエミッションなどの課題を乗り越えて「乗って楽しい車つくり」を来場者に乗車し体感してもらうことを意識した。

参加者運転による一般道路での試乗体験企画。試乗コースはパシフィコ横浜付近の約4キロ、約15分を予定し、各メーカーの説明員が助手席に同乗し、車両説明やコース案内。公道を使用した試乗コースで最先端技術が体感できる。

試乗車はトヨタ自動車「MIRAI」、ホンダ「S660」「STEP WGN」「STEP WGN SPADA」、マツダ「ロードスター（マニュアル車）」、日産自動車「e-NV200」、三菱自動車「アウトランダーPHEV」、スズキ「アルトターボRS」、ダイハツ「コペンRobe」「コペンXPLAY」。

新たなカテゴリーの乗り物として注目が集まる超小型モビリティーの公道試乗を、今回実現した。試乗コースはパシフィコ横浜付近の約3キロ、約10分を予定。トヨタ車体「コムス」と日産自動車「New Mobility Concept」が公道試乗ができ、トヨタ自動車「i-ROAD」が特設コース試乗となっている。

試乗は事前予約だけでなく当日申し込みも用意しているが、試乗枠には限りがあり定員になり次第締め切るため注意が必要だ（i-ROADは、当日受付のみ）。

フォーラムに来場者の関心が集まる

フォーラムにも注目

人とくるまのテクノロジー展の特徴はセミナー、講演が充実していることだ。自動車技術が直面している課題の解決や次世代自動車・部品に関する技術の最新動向などを知ることができる。

Keynote Adresは、会期2日目の21日16時55分から会議センターメインホールで行われる。JR東海の白国紀行氏が「鉄道の高速化における技術開発」と題して講演する。

無料で聴講可能なフォーラム（テキストは自動車技術会会員資格を問わず有料）は会議センターとアネックスホールで行う。20日は「2035年のエネルギー展望」や「2050年の社会情勢を見通した交通システムと自動車動力の方向性」「カー・ロボティクス」「EV向けワイヤレス充電の最新同」「自動車開発におけるモデル流通の展望と課題」「交通事故自動通報の実現に向けた具体的戦略」「自動車プラスチックリサイクルの意義」のそれぞれのテーマで七つのフォーラムが行われる。

21日は「Post2025年の乗用車用パワートレインの主流は？」「モータースポーツフォーラム」「英国自動車フォーラム：英国におけるイノベーション」「自動車のイノベーションを生む材料技術」「車体の最新技術」「事故事態把握に向けた事故調査・分析はどうあるべきか？」「地球環境とこれからの自動車技術がたどる道」「グローバルに取り組む日本の生産技術」の8テーマ。

22日は「Cars that think and communicate Ⅰ」「Cars that think and communicate Ⅱ」「スポーツする二輪車」「日中韓自動車フォーラム」「自動車の情報セキュリティ」「次世代車両開発の基礎となるタイヤ像を探る」を題にして行われる。

横浜で開催している「人とくるまのテクノロジー展」は14年12月、初めて名古屋市のポートメッセ名古屋でも開催した。次回は16年に横浜と名古屋の2カ所で行う。

有力企業の製品・技術

〈順不同〉

トーホーエンジニアリング

トーホーエンジニアリングは独LTG（シュツットガルト市）の製品「タンジェンシャルファンシステム」で、日本総代理店契約を結んでいる。このファンを同社の技術でシステムに組み込み、顧客に最適な形で納入している。展示会ではタンジェンシャルファンシステムを使った画期的な自動車排出ガス試験装置「車速追従型冷却ファンシミュレーターVQFシリーズ」を訴求する。

車速追従型冷却ファンシミュレーターVQFシリーズはWLTP（小型車の世界共通排出ガス試験法）に準拠した試験装置で、横流ファン技術により最高で時速135キロまでのシミュレーションを実現。LTGは2008―14年に日本以外で200台納入しているが、これから日本市場に販売していく。既に日本の大手メーカーとの交渉にも入っている。

共和電業

共和電業はひずみゲージをコアスキルとする応力計測の総合メーカー。ひずみゲージやそれを応用した各種変換器、測定器、記録器、ソフトウエア、計測システムを自社で一貫して開発・製造・販売している。業界のリーディングカンパニーとして、国内のみならず海外においても高い評価と信頼を得ている。

自動車関連分野では顧客との長年の信頼に基づく製品開発を通じて、自動車のさらなる安全性向上に貢献している。

今回の出展では衝突安全試験分野や操縦安定性・操作性評価試験分野、燃料電池自動車分野向けに、多数の製品を提案する。コアスキルであるひずみゲージの紹介コーナーを設け、車載基板の信頼性評価が簡単に実施できる基板応力測定キットなどを紹介する。

日本レーザー

日本レーザーは可視化・解析システムを中心とした実機を出展する。溶接時には高照度のプラズマ光が発生するため溶接プロセスの詳細を通常は観察ができないが、プラズマ光を完全に遮断して溶接プロセスの全てで鮮明な可視化映像を得ることができるようデザインされた溶接の可視化装置「ViSiWeld」を出品。〝新しい特殊光学系〟と〝新しい解析アルゴリズム〟を採用し、どのような環境でも精度良く簡単に測定できる最新の画像解析式の粒度分布測定装置「ViSiSizerシステム」を提案する。

このほか可視化や粒子画像速度（PIV）計測用に豊富なラインアップの可視化用レーザー光源など、自動車業界の技術者や研究者らのソリューションの一助となる機器と装置を展示する。

不二越

不二越は多彩な事業と技術を併せ持つ総合機械メーカーの特徴を生かし、多彩なソリューションを提案。「低燃費化・寿命向上・高効率化」をテーマに、高機能の自動車用ベアリングをはじめオリジナルの機能部品材料、自動車用ソレノイドバルブ、小型産業用ロボットなどを出展。自動車用ベアリングでは「低燃費化」に向けたトランスミッション用低トルク円すいころ軸受、標準軸受の2―3倍の長寿命化を可能にした4点接触玉軸受などを紹介する。

機能部品材料としては高い硬度と耐食性を実現した、新しいコンセプトのマルテンサイト系ステンレス鋼「EXEO-CR20」などを紹介する。

また自動車用ソレノイドバルブ、クラッチ用油圧制御モジュールやクラス最高動作速度の小型ロボット「MZ07」を展示する。

Creating the next value. Vol.08

おかげさまで、一億台。
これからも、ジェイテクトのEPSは
世界中のみなさまの快適なドライブを
支えていきます。

1988年、ジェイテクトが世界で初めて開発・量産に成功した
EPS（電動パワーステアリングシステム）は、
これまで、様々な形で、世界中のみなさまの快適なドライブに貢献してきました。
たとえば、小型車にも、軽々としたハンドル操作を実現したり、
最初のハイブリッドカーからずっと、欠かせないシステムとして、低燃費に貢献したり、
世界各国のいろいろな路面状況に合わせた快適な走りをお手伝いしたり。
おかげさまで、世界中のみなさまにお届けできたEPSは、このたび、一億台に。
ジェイテクトのEPSは、一億人のドライバーのみなさまのお役にたつことができました。
・・・とはいっても、みなさまからは見えないところで、ですが。
でも、いまや世界のEPS搭載車の三台に一台は、ジェイテクトのEPSです。
あなたのそばで、快適なドライブのお役にたっていたかもしれません。
だから、これからもジェイテクトは、EPSのトップメーカーとして、
世界中のみなさまに、もっともっと快適なドライブをお届けしていきます。

自動車技術展 人とくるまのテクノロジー展2015 AUTOMOTIVE ENGINEERING EXPOSITION
5月20日（水）～22日（金）
会場／パシフィコ横浜
ブース／No.321

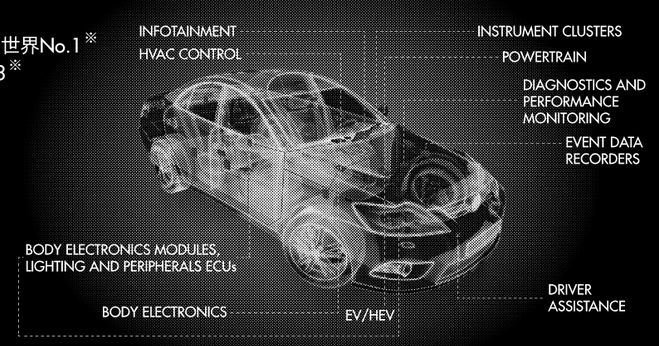
No.1 & Only One
JTEKT
自動車部品・ベアリング・工作機械の、ジェイテクト。

JTEKT 自動車部品事業ブランド　Koyo 軸受（ベアリング）事業ブランド　TOYODA 工作機械・メカトロ事業ブランド
株式会社ジェイテクト

IMV VIBRATION TEST SYSTEMS 振動試験装置 A series
New A-Series 誕生
Aが導く、振動試験の理想。
IMV CORPORATION
IMV株式会社
http://www.imv.co.jp/
東京営業所　TEL. 03-3436-3920　FAX. 03-3436-3921
大阪営業所　TEL. 06-6478-2575　FAX. 06-6478-2537
名古屋営業所　TEL. 0561-35-5188　FAX. 0561-36-4460

人とくるまのテクノロジー展 出展 小間番号302
確かな安全と安心を―
ゆるみ止めナット一筋に半世紀。
U-NUT®
What's new!!
U-NUT®がNETISに登録されました。NETIS番号：KT-130064-A
ゆるみ止めナットの総合メーカー
株式会社 冨士精密
Fuji Seimitsu Co.,Ltd.
■本　社　TEL 06-6862-3112
■福岡営業所　TEL 092-411-1551
■東京支店　TEL 03-5626-1061
http://www.fun.co.jp

新生サイプレス 発進
CYPRESS PERFORM + SPANSION
組み込みシステムにおける
グローバルリーダー　サイプレス
SRAMメモリ、NORフラッシュメモリは世界No.1※
車載向けマイコン&メモリは世界No.3※
※当社調べ



2015年3月12日　サイプレスとスパンションは合併し、新生サイプレスとして始動しました

日本サイプレス株式会社
〒211-0004 神奈川県川崎市中原区新丸子東3丁目1200
Tel 044-920-8000　Fax 044-920-8100　japan.cypress.com
CYPRESS PERFORM　人とくるまのテクノロジー展2015 AUTOMOTIVE ENGINEERING EXPOSITION　小間番号 218